

HC20/HC50

タッチ コンピュータ



ZEBRA

クイック スタート ガイド

2024/01/02

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2023 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/linkoslegal.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

パッケージの開梱

1. デバイスを覆っている保護材をすべて慎重に取り外して、後で保管や搬送に使用できるように梱包箱を保管しておきます。
2. 次のものが含まれていることを確認します。
 - タッチ コンピュータ
 - PowerPrecision リチウムイオン バッテリ
 - 規制ガイド
3. 破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合、グローバルカスタマーサポートセンターにただちにお問い合わせください。
4. デバイスを初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

機能

図 1 正面図

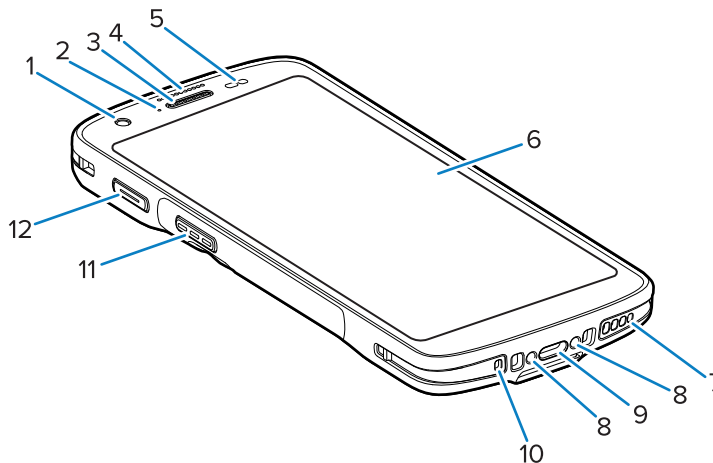


表 1 正面図の機能

番号	項目	機能
1	前面カメラ	写真やビデオを撮影します (一部のモデルで使用可能)。
2	充電/通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
3	スピーカ/レシーバ	ハンドセットおよびスピーカフォンモードでの音声の再生に使用します。
4	データ収集 LED	データ収集ステータスを示します。

表 1 正面図の機能 (Continued)

番号	項目	機能
5	光/近接センサー	ディスプレイのバックライトの光の強さを制御するために環境光を測定し、ハンドセットモードでディスプレイをオフにするために近接状態を判定します。
6	タッチ スクリーン	デバイスの操作に必要な情報がすべて表示されます。
7	スピーカ	ビデオおよび音楽再生用の音声を出力します。スピーカモードで音声を出力します。
8	クレードル充電端子	クレードルとアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。
9	USB-C コネクタ (プラグ付き)	ケーブルとアクセサリを介した USB ホスト、クライアント通信、デバイスの充電に使用します。
10	マイク	ハンドセットモードでの通信に使用します。
11	スキャンボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
12	プログラム可能ボタン	通常、プッシュトゥーク通信で使用します。のようにプッシュトゥーク VoIP 通信に対して規制上の制限がある場合、このボタンは他のアプリケーションで使用できるように設定できます。

図 2 背面図

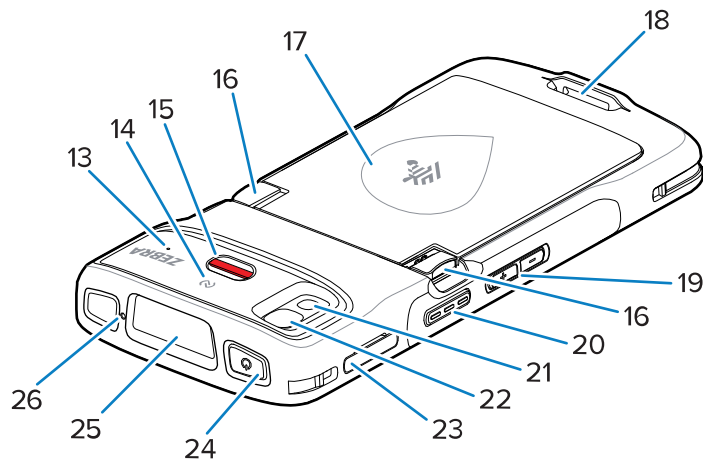


表 2 背面図の機能

番号	項目	機能
13	マイク	通信およびノイズキャンセリングに使用します。
14	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信に使用します。
15	アラート ボタン	赤のアラート ボタン。
16	バッテリー リリース ラッチ	押して、バッテリーを取り外します。

表 2 背面図の機能 (Continued)

番号	項目	機能
17	PowerPrecision リチウムイオンバッテリー	デバイスに電力を供給します。
18	ハンドストラップ マウント	ベーシック ハンド ストラップ アクセサリー用の取り付けポイントになります。
19	音量上/下ボタン	音声のボリュームを調節します (プログラム可能)。
20	スキャン ボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
21	カメラ フラッシュ	カメラのフラッシュや懐中電灯として使用します。
22	背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
23	カード ホルダ	SIM カードや SD カードを入れます。
24	電源ボタン	ディスプレイをオン/オフにします。長押しすると、本デバイスのリセットまたは電源オフが行えます。
25	スキャナ ウィンドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します (一部のモデルで使用可能)。
26	マイク	スピーカフォン モードでの通話に使用します。

本デバイスのセットアップ

デバイスを初めて使用する際には、次のことを行います。

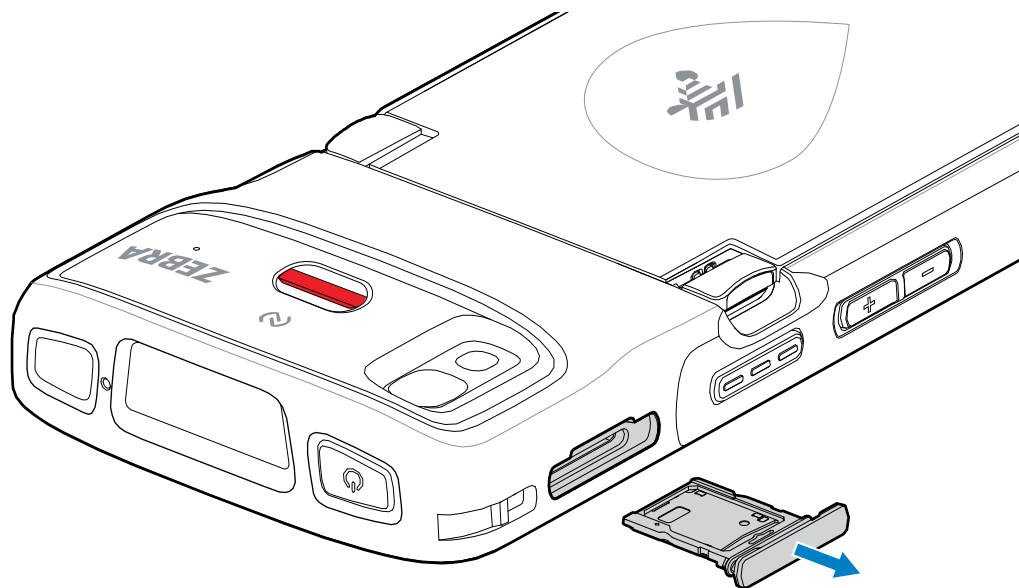
1. マイクロセキュア デジタル (SD) カードを取り付けます (オプション)。
2. バッテリーを取り付けます。
3. デバイスを充電します。

microSD カードの取り付け

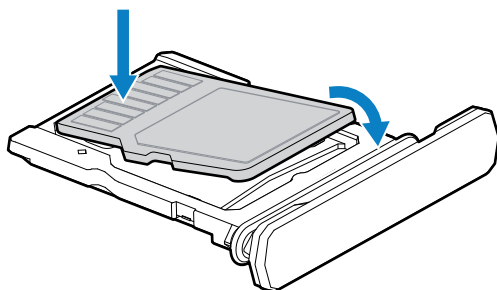


注意: microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マットでの作業、および作業者が適切に接地されていることの確認が含まれますが、これらに限定されません。

1. カードホルダをデバイスから引き出します。

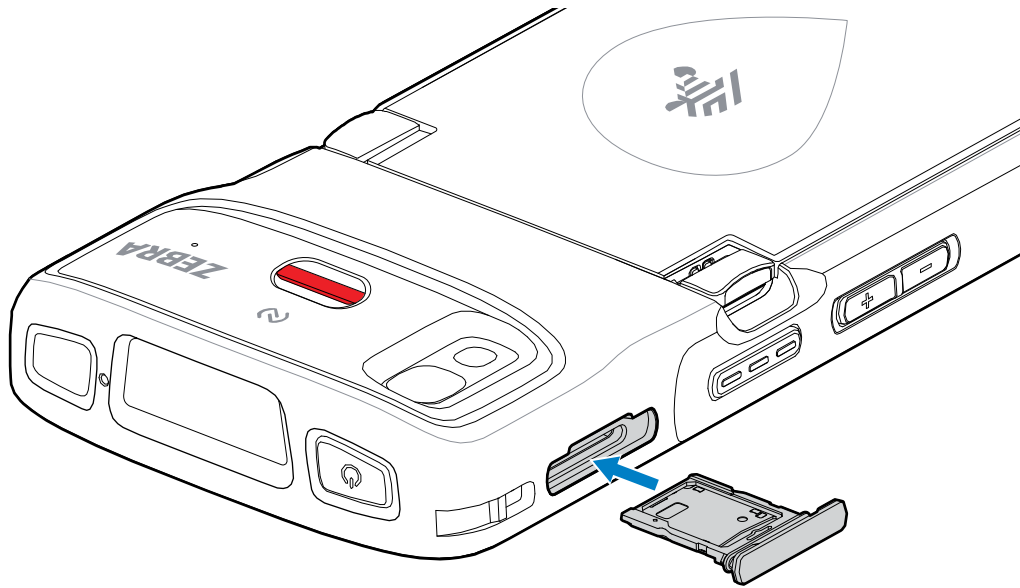


2. 端子を上にして、端子側から microSD カードをカードホルダに置きます。



3. microSD カードを下に傾けます。
4. カードをカードホルダに押し込み、しっかりと装着します。

5. カードホルダを差し込みます。

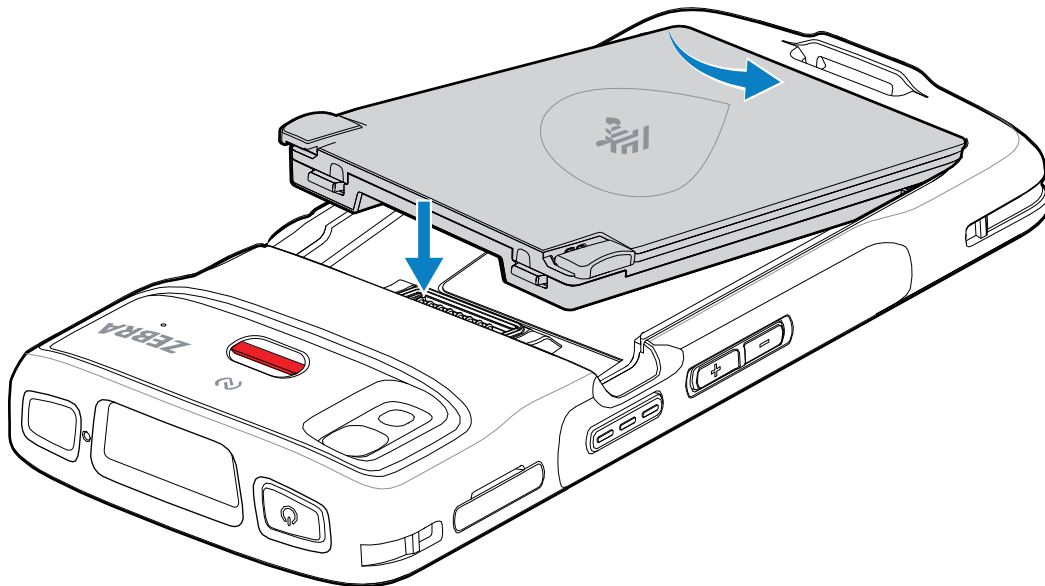


バッテリーの取り付け



注: ユーザーが本デバイス (特にバッテリー受け) に対して、ラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどの改変を加えると、本デバイスまたはアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング (保護等級 (IP))、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、および耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けしないでください。

1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



2. バッテリーリリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し下げます。

バッテリーの交換

HC20 および HC50 デバイスのバッテリーを交換します。

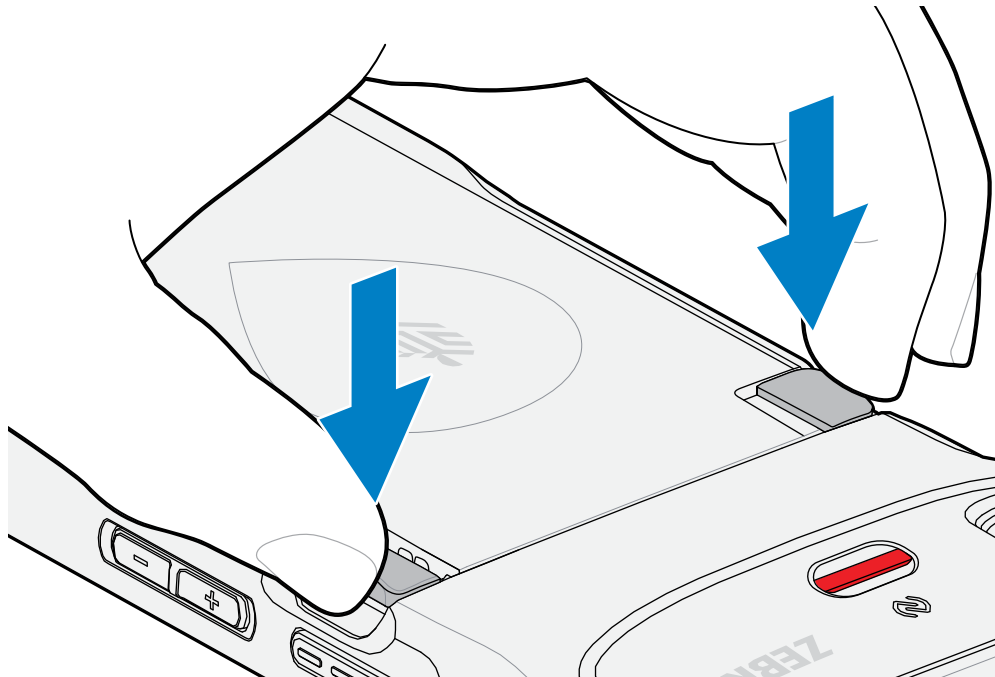


注: 特にバッテリー受けに対して、ユーザーによるデバイスの改変 (ラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなど) を加えると、デバイスまたはアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング (保護等級 (IP))、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けないでください。



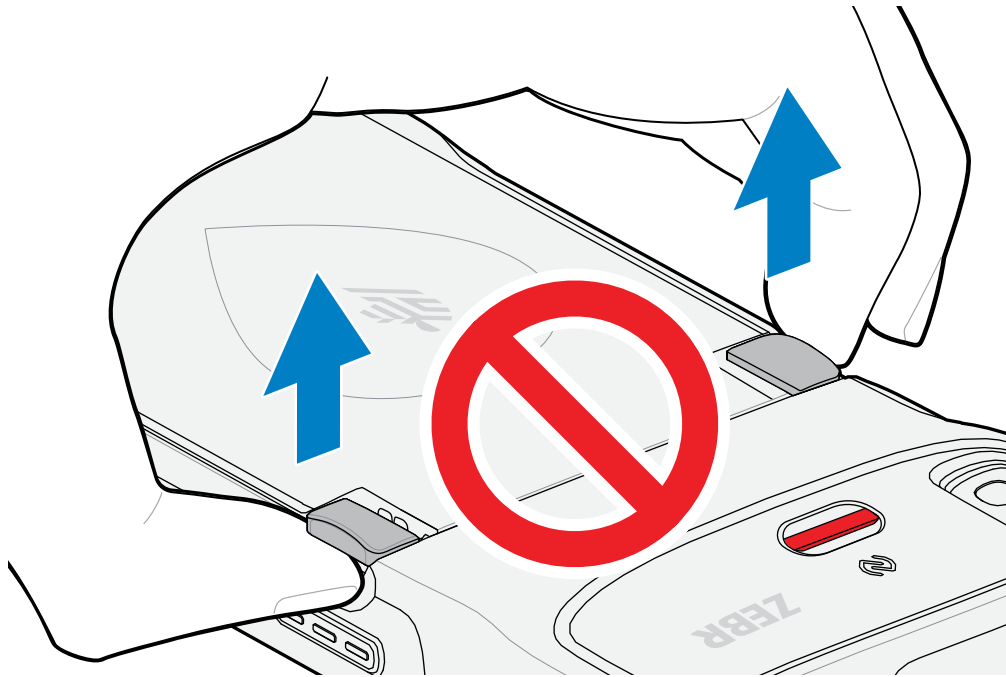
注意: バッテリーの交換中は、microSD カードの挿入や取り出しを行わないでください。

1. メニューが表示されるまで電源ボタンを押し続けます。
2. **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
3. ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップを外します。
4. 2つのラッチを押し下げます。

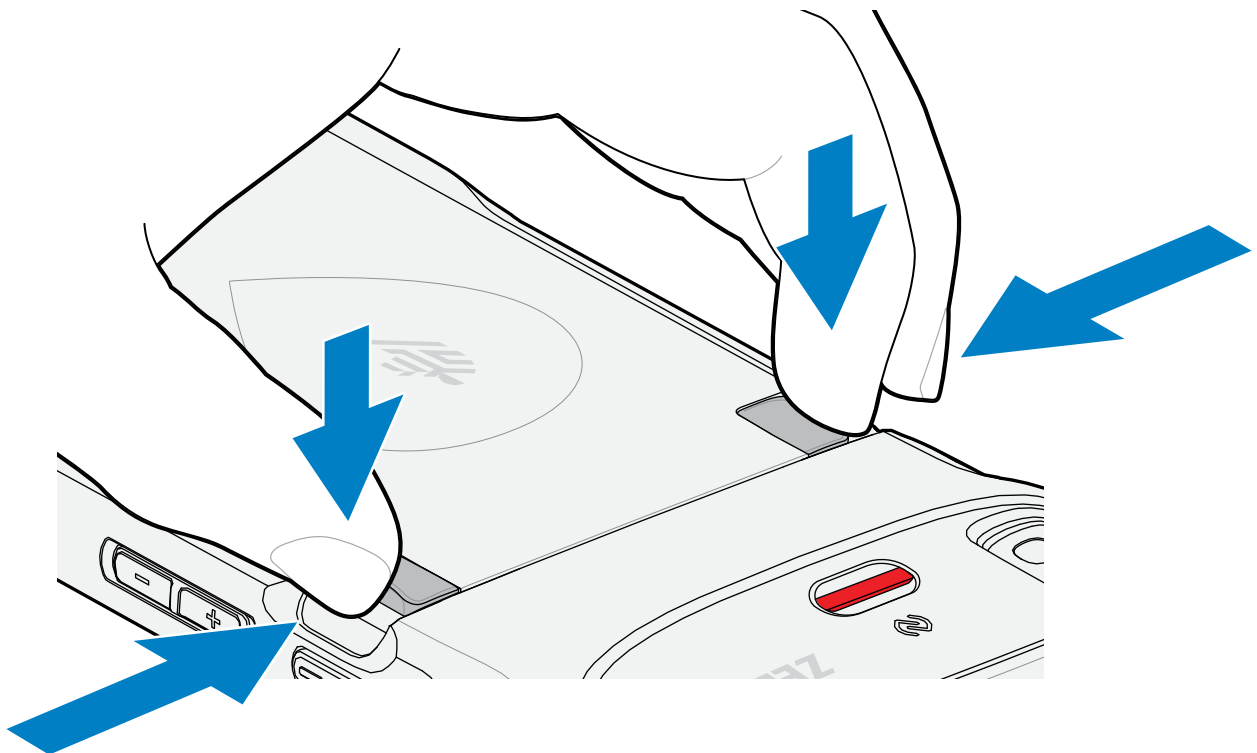




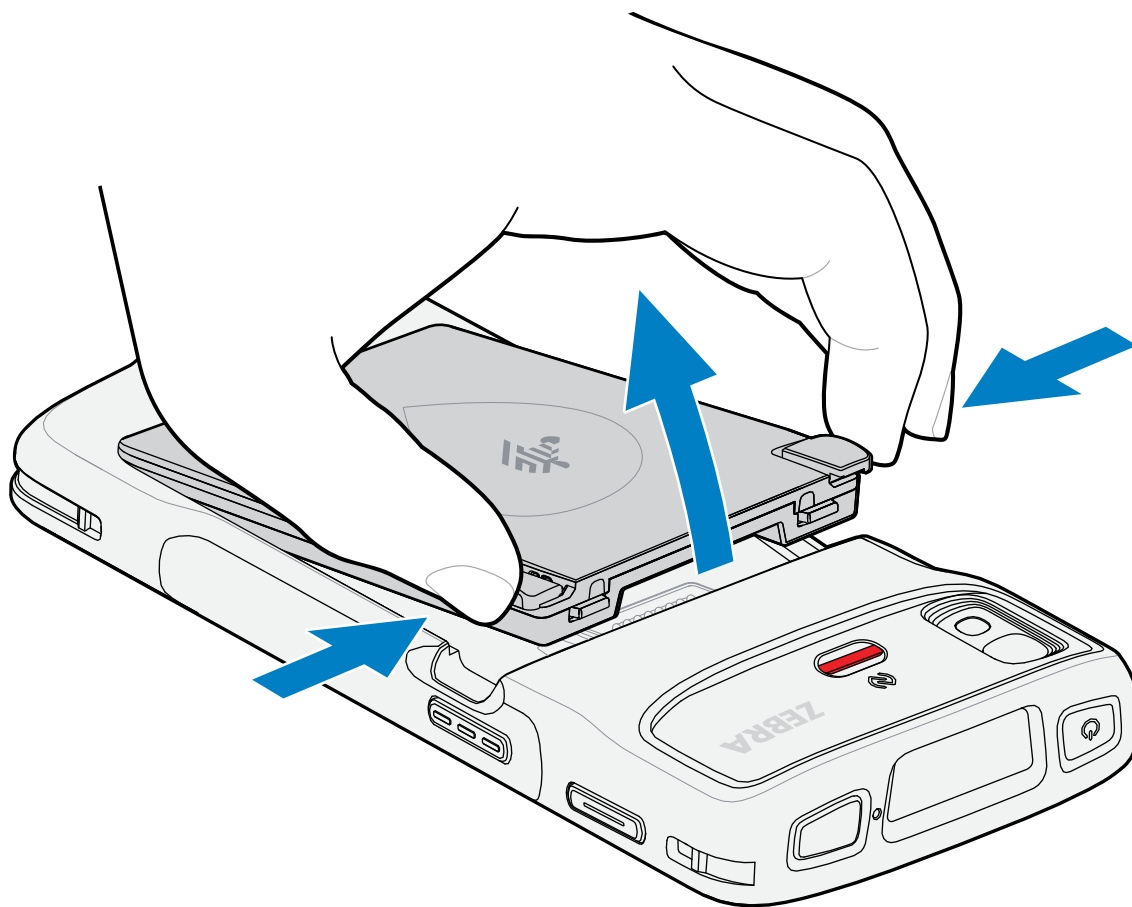
注: バッテリーを引っ張る際は、ラッチの下に指を入れしないでください。ラッチが破損する可能性があります。



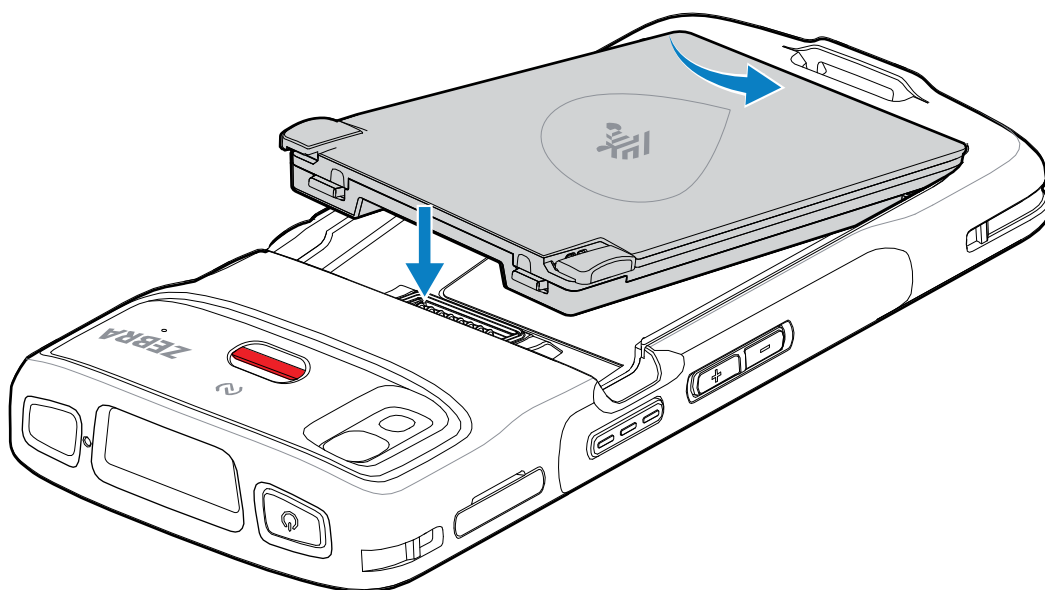
5. ラッチを押し下げながら、2つのラッチをデバイスの中央に向かって押し込みます。バッテリーを取り外すには、ラッチを完全に押し込む必要があります。



6. バッテリーをデバイスから取り出します。



7. デバイスの背面のバッテリー収納部に、交換用のバッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



8. バッテリー リリース ラッチが固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
9. 必要に応じて、ハンドストラップを元に戻します。
10. 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

デバイスの充電



注意: 本デバイスの『Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

デバイスおよび/または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表3 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備バッテリー	USB	イーサネット
1 スロット充電専用クレードル	CRD-HC2L5L-BS1CO	あり	なし	なし	なし
1 スロット充電専用クレードル (予備バッテリークレードル付き)	CRD-HC2L5L-2S1D1B	あり	あり	なし	なし
4 スロット バッテリー充電器	SAC-HC2L5L-4SCHG	なし	あり	なし	なし
5 スロット充電専用クレードル	CRD-HC2L5L-BS5CO	あり	なし	なし	なし

メインバッテリーの充電

デバイスを初めて使用する場合、まず充電/通知 LED が緑色に点灯するまで、メインバッテリーを充電します。デバイスを充電するには、ケーブルまたはクレードルと適切な電源を使用します。

以下のバッテリーをご利用ください。

- 標準ヘルスケア 3,800 mAh PowerPrecision LI-ON バッテリー (BLE ビーコン付き) - 部品番号: BTRY-TC2K-2XMAXB-01

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示しています。標準バッテリーが完全に空になっている場合は、1 時間 20 分以内に 80% まで充電されます。拡張バッテリーが完全に空になっている場合は、1 時間 50 分以内に 80% まで充電されます。



注:

デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電してください。

表4 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	説明
オフ	デバイスが充電されていません。デバイスが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が供給されていません。

表 4 充電/通知 LED 充電インジケータ (Continued)

状態	説明
黄色でゆっくりと点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスを充電中です。
赤色でゆっくりと点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスを充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色で点灯	充電が完了しました。
赤色で点灯	充電が完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎるか、または高すぎます。 • 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 8 時間)。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎるか、または高すぎます。 • 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 8 時間)。

予備バッテリーの充電

4 スロット バッテリー充電器の予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電状態を示します。標準および拡張バッテリーが完全に空になっている場合は、4 時間以内に 90% まで充電されます。

LED	説明
黄色で点灯	予備バッテリーを充電中です。
緑色で点灯	予備バッテリーの充電が完了しました。
赤色で点灯	予備バッテリーを充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。充電は完了していますが、バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電中にエラーが発生しました。予備バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。バッテリーの寿命が近づいています。
オフ	スロットに予備バッテリーがありません。予備バッテリーがスロットに正しく装着されていません。クレードルに電源が供給されていません。

充電温度

バッテリーは、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で充電してください。デバイスまたはクレードルは、常に安全かつ適切な方法で充電します。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、本デバイスまたはクレードルでは、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間でバッテリー充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

1 スロット充電専用クレードル

このクレードルはデバイスに電力を供給します。

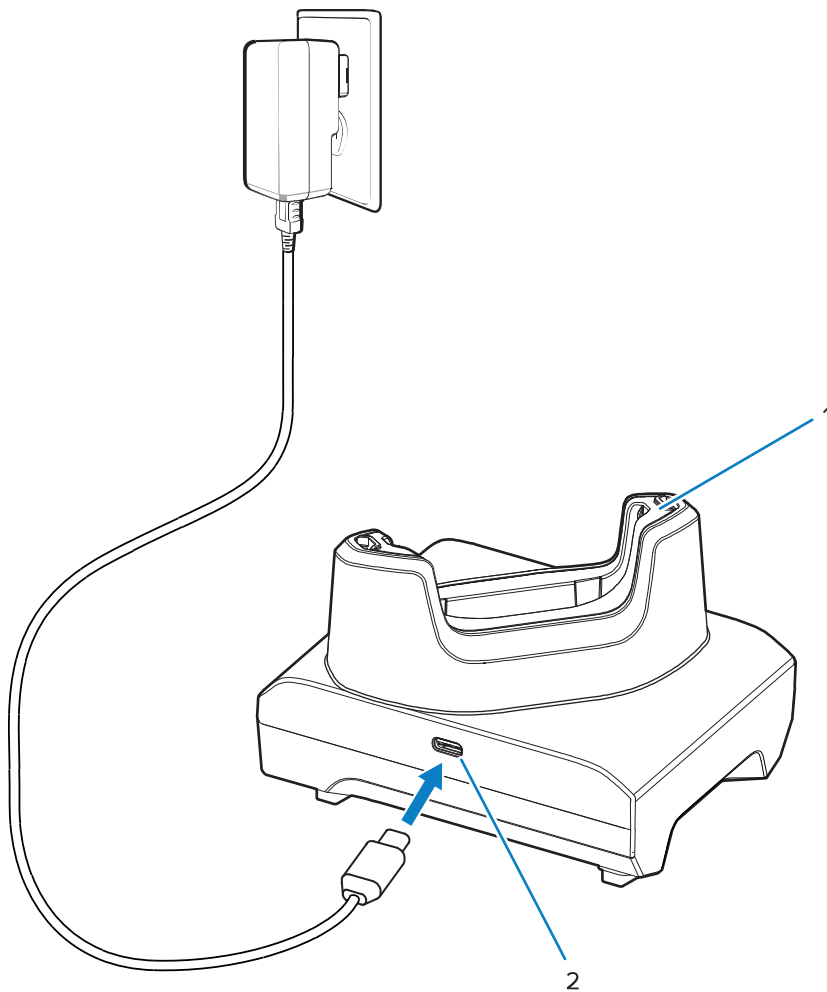


注意：『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

1 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- デバイスのバッテリーを充電します。

図 3 1 スロット充電専用クレードル



1	シム付きのデバイス充電スロット。
2	USB 電源ポート。

1 スロット充電専用クレードル (予備バッテリー クレードル付き)

このクレードルは、デバイスと予備バッテリーに充電する電力を供給します。

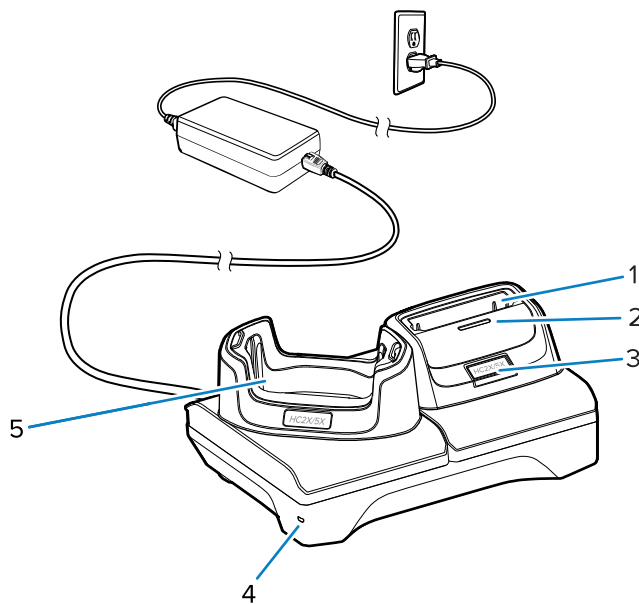


注意：『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

1 スロット充電専用 (予備バッテリー クレードル付き) には、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- デバイスのバッテリーを充電します。
- 予備バッテリーを充電します。

図 4 1 スロット クレードル (予備バッテリー スロット付き)



1	予備バッテリー充電スロット。
2	予備バッテリー充電 LED
3	USB-C ポート USB-C ポートはファームウェアのアップグレード専用のサービス コネクタで、充電用ではありません。
4	電源 LED
5	シム付きのデバイスの充電スロット

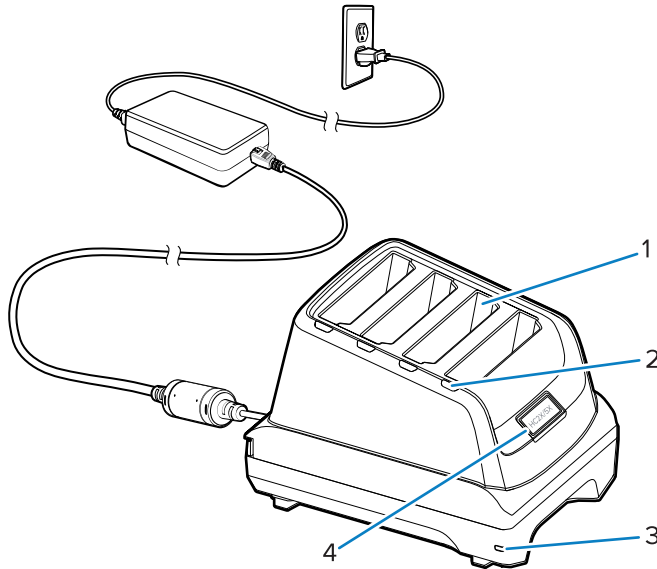
4 スロット バッテリー充電器

ここでは、4 スロット バッテリー充電器を使用して最大 4 台のデバイスのバッテリーを充電する方法について説明します。



注意：『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

図 5 4 スロット バッテリー充電器



1	バッテリー スロット
2	バッテリー充電 LED
3	電源 LED
4	USB-C ポート USB-C ポートはファームウェアのアップグレード専用のサービスコネクタで、充電用ではありません。

5 スロット 充電専用クレードル

5 スロット バッテリー充電器を使用して最大 5 台のデバイスのバッテリーを充電する方法について説明します。

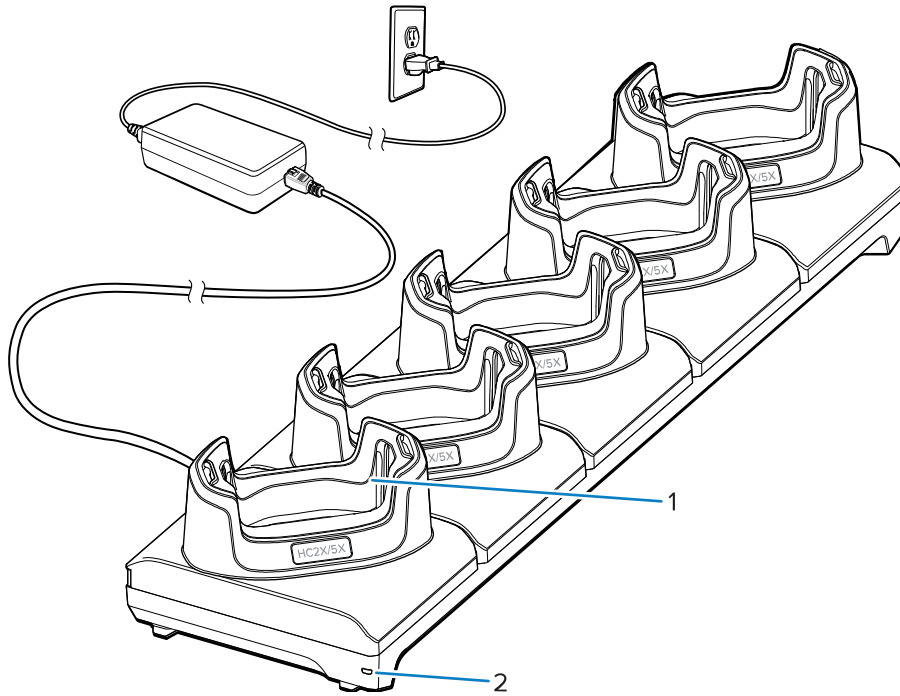


注意：『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

5 スロット 充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- 最大 5 台のデバイスを同時に充電します。

図6 5スロット充電専用クレードル



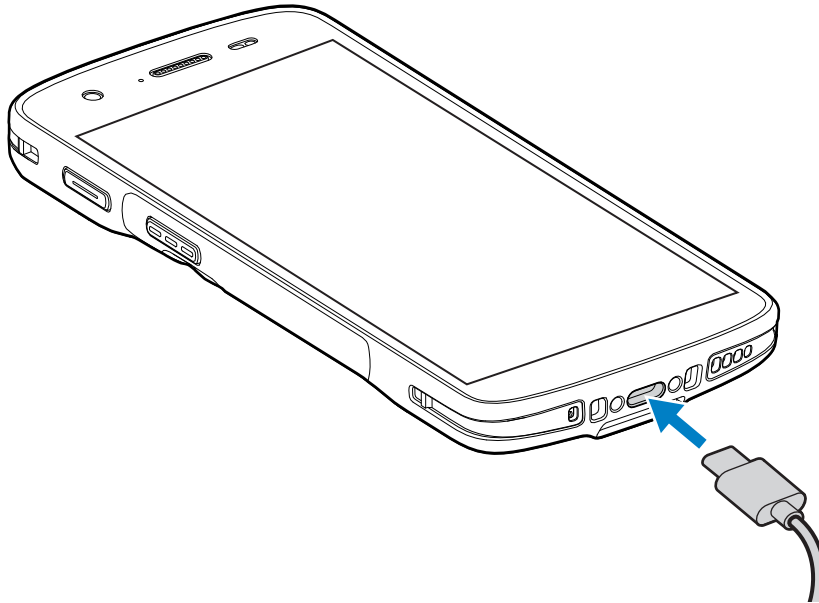
1	シム付きのデバイスの充電スロット
2	電源 LED

USB ケーブル

USB ケーブルをデバイスの下部に差し込みます。デバイスに接続すると、充電、ホストコンピュータへのデータ転送、USB 周辺機器の接続ができるようになります。

USB ケーブルを USB-C コネクタに挿入する前に、USB コネクタ プラグを取り外します。

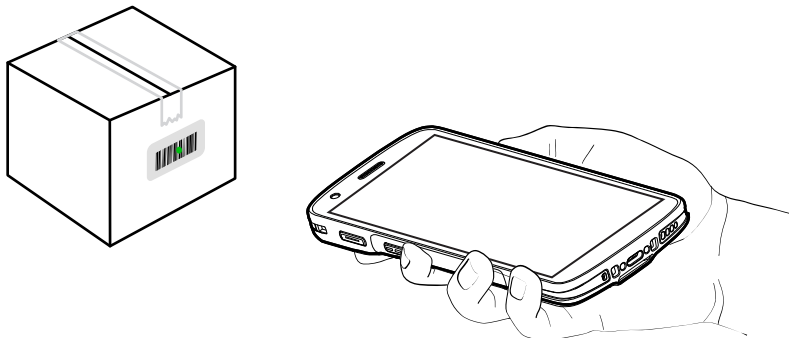
図7 USBケーブル



内部イメージャでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。このデバイスには、イメージャでバーコードデータを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションが含まれています。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスのスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。



3. スキャン ボタンを押し続けます。
 デバイスは照準パターンを投影します。



注: デバイスがピック リスト モードの場合、デバイスはドット の中心がバーコードに当たるまでバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で視認性を向上させるために使用されます。



デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

5. スキャン ボタンを放します。



注: イメージャの読み取りは通常、瞬時に行われます。精度の悪いまたは読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デジタル写真 (画像) を撮影する手順が繰り返されます。

デバイスのテキスト フィールドにバーコード データが表示されます。

人間工学に関する考慮事項

デバイスを使用する際は、このように手首を極端に曲げないでください。

